

個人番号カード・公的個人認証サービス等の利活用推進の在り方に関する懇談会  
個人番号カード等の利活用検討ワーキンググループ（第2回）  
議事概要

1. 日時

平成28年2月4日（木）14時00分～16時00分

2. 場所

総務省 7階 省議室

3. 出席者

(1) 構成員

須藤主査、石井構成員、小尾構成員、楠構成員、神成構成員、関構成員、大川構成員、森構成員、林構成員、佐藤構成員

(2) 関係省庁

阿部内閣官房 社会保障改革担当室参事官、松元特定個人情報保護委員会事務局  
総務課長

(3) 総務省

望月総務省大臣官房企画課 個人番号企画室長、小笠原情報通信国際戦略局 情報  
通信政策課長

4. 議事

(1) マイナンバー制度の施行状況について

(2) 海外における個人番号カードの利用について

5. 議事概要

(1) マイナンバー制度の施行状況について

- 事務局より、資料2に基づき説明。
- マイナンバー制度導入後のロードマップ（案）について、2019年に3年後の見直しにより、マイナンバーの役割が拡大しそうに見えるがどのように考えているか。
- 戸籍事務や旅券事務、在外邦人の情報管理業務、さらには証券分野などへの拡大の検討を行うことを考えている。
- コンビニ交付参加（予定）団体と実施店舗数について、スーパーがコンビニに比べて少ない印象。
- スーパーについては、大手に協力してもらいたいと考えているが、スーパーがない地域があり、例えばポプラなど地域に特化したものも含めて検討していきたい。

**(2) 海外における個人番号カードの利用について**

- 事務局より、資料3に基づき説明。(資料について非公表のため、議事概要についても非公表とする。)